

(別紙5)

整理番号 2017P-164
補助事業名 平成29年度 福祉機器の整備 補助事業
補助事業者名 (一社) 栃木県医師会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

栃木県医師会は、栃木県県北地域の総合リハビリテーションセンターである栃木県医師会塩原温泉病院を運営しておりますが、こちらの病院では通常のリハビリテーションに加え様々な特徴のあるリハビリテーションを実施しております。

これら特徴的なリハビリテーションの中でも、脳卒中や脊髄損傷等の神経に障がいを持った患者さんに対してロボットスーツHAL®自立支援用(単関節タイプ)を利用したリハビリテーションは県内で初めて実施しております。

同機器に関する使用実績を重ねると共に、得られた機器に関するデータを学会等で研究結果を発表していく中で、継続的な利用により多くの患者さんの治療効果が上がり、また、今後とも調査研究し関係団体へ発信していく事でリハビリテーションの発展に貢献できると考えた当会は、高額であることから単年度レンタルであった同機器を購入することとなりました。

(2) 実施内容

<http://www.tochigi-med.or.jp/residents/index.html>

機器の整備

HAL®自立支援用単関節タイプ(左右)セット

納品された機器の写真と装着時の写真をご覧ください。



左膝と右肘に使用する機器とその中身です(右膝と左膝に使用する機器も納入されました。主要機器はこちらになります。

(別紙5)



附属品を装着した機器が左下の写真で、実際のリハビリテーション時に装着した場合が右下の写真となります。



病院正面玄関に補助標識を掲示しております。



2 予想される事業実施効果

補助事業により購入を行う事が出来たため今後は継続的に使用できるようになりました。今後は、同機器が必要な患者さんに対して途切れることなく使用できるようになった為、患者さんの更なる機能回復に貢献できる事が見込まれます。

また、塩原温泉病院では、レンタルで使用している時から研究班をつくり同機器に

(別紙5)

関する調査研究を行っていましたが、継続的な使用が可能になったことにより更なるデータの蓄積及び研究結果の発信が可能となりました。これにより、わが国のリハビリテーションの発展に貢献できると考えております。

3 印刷物等

本事業に係わる印刷物等

<http://www.shiobara-hp.jp/doc/11010.html>

市民の皆様には、塩原病院の広報誌『塩原病院だより』冬号（1月1日発行予定）でお知らせする予定です（左下）。

また、栃木県医師会の広報誌におきましても掲載しております。（右下）。

平成30年1月1日 塩原温泉病院だより Vol.21

公益財団法人JKAの補助事業により ロボットスーツHALを購入しました！

当院では、県内で初めて、脳卒中や脊髄損傷等の神経疾患に対し、HAL®自立支援用(単関節タイプ)を使用したリハビリテーションを実施しております。
この度、運営母体である栃木県医師会は、同機器に関する使用実績を重ねると共に、得られた機器に関するデータを学会等で研究結果を発表していく中で、継続的な利用により多くの患者さんの治療効果が上がり、また、今後とも調査研究関係団体へ発信していく事でリハビリテーションの発展に貢献できると考え、高経費であることから単年度レンタルであった同機器を競輪の補助事業である公益財団法人JKAによる公益事業費補助事業を受け購入することになりました。
補助事業により購入を行う事が出来たため今後は継続的に使用できるようになりました。今後は、同機器が必要な患者さんに対して適切に使用できるようになった為、患者さんの更なる機能回復に貢献できる事が見込まれます。
また、塩原温泉病院では、レンタルで利用している時から研究班をつくり同機器に関する調査研究を行っていましたが、継続的な使用が可能になったことにより更なるデータの蓄積及び研究結果の発信が可能となりました。これにより、わが国のリハビリテーションの発展に貢献できると考えております。




購入した機器(上)と組み立てた時の様子及び訓練風景

競輪 & オートレースの補助事業 Auto Race

KEIRIN.JP KEIRIN Official Website

<http://www.shiobara-hp.jp/mg/jka/gf> <http://www.shiobara-hp.jp/mg/keirin/gf>

栃医新聞 公益財団法人JKAの補助事業によりロボットスーツHALを購入しました！ 平成29.11.20 (399)

公益財団法人JKAの補助事業により、当院にロボットスーツHALが導入されました。HALは脳卒中や脊髄損傷等の神経疾患に対し、自立支援用(単関節タイプ)を使用したリハビリテーションに有効です。この度、運営母体である栃木県医師会は、同機器に関する使用実績を重ねると共に、得られた機器に関するデータを学会等で研究結果を発表していく中で、継続的な利用により多くの患者さんの治療効果が上がり、また、今後とも調査研究関係団体へ発信していく事でリハビリテーションの発展に貢献できると考え、高経費であることから単年度レンタルであった同機器を競輪の補助事業である公益財団法人JKAによる公益事業費補助事業を受け購入することになりました。補助事業により購入を行う事が出来たため今後は継続的に使用できるようになりました。今後は、同機器が必要な患者さんに対して適切に使用できるようになった為、患者さんの更なる機能回復に貢献できる事が見込まれます。また、塩原温泉病院では、レンタルで利用している時から研究班をつくり同機器に関する調査研究を行っていましたが、継続的な使用が可能になったことにより更なるデータの蓄積及び研究結果の発信が可能となりました。これにより、わが国のリハビリテーションの発展に貢献できると考えております。

【概要】 199名(特別支援5名/通常30名)
【価格】 内装/補内装/内装代換的料
型別内装/コアマテ/インナーユニット
【1ヶ月レンタル料】標準料金2,446円/作業車
金2,300円/運搬車金1,446円(運搬車別料金)

HALを用いた歩行のリハビリテーション

当院では、県内で初めて、脳卒中や脊髄損傷等の神経疾患に対し、HAL®自立支援用(単関節タイプ)を使用したリハビリテーションを実施しております。この度、運営母体である栃木県医師会は、同機器に関する使用実績を重ねると共に、得られた機器に関するデータを学会等で研究結果を発表していく中で、継続的な利用により多くの患者さんの治療効果が上がり、また、今後とも調査研究関係団体へ発信していく事でリハビリテーションの発展に貢献できると考え、高経費であることから単年度レンタルであった同機器を競輪の補助事業である公益財団法人JKAによる公益事業費補助事業を受け、10月1日より同機器を継続的に使用することが可能となりました。また、単年度の患者さんが多いことで50名以上の患者さんの紹介も計画されています。

〒329-2371 栃木県塩原温泉市塩原1333
栃木県医師会塩原温泉病院
TEL:0287-32-4111 FAX:0287-32-4228
E-mail:sho@sho-hp.jp

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 一般社団法人栃木県医師会

(イッパンシャダンホウジントチギケンイシカイ)

住 所 : 〒320-0065

栃木県宇都宮市駒生町3337-1とちぎ健康の森4階

代 表 者 : 会長 太田 照男 (オオタ テルオ)

担 当 部 署 : 栃木県医師会塩原温泉病院総務課

(トチギケンイシカイシオバラオンセンビョウインソウムカ)

担 当 者 名 : 課長 山口 国明 (ヤマグチ クニアキ)

電 話 番 号 : 0287-32-4111

F A X : 0287-32-4226

E - m a i l : shio-hp@sshp.jp

U R L : <http://www.tochigi-med.or.jp/>